




**PICTET**  
 1805

# Pictet Mirai Project

ピクテ・ミライ・プロジェクト

220年の歴史を持つピクテ・グループは、経営理念の中枢にある「サステナビリティ」のもと、さまざまな形で地域社会への還元に努めて参りました。

ピクテ・ミライ・プロジェクトは寄付を通じて日本の地域社会に還元し、日本のサステナブルな未来に貢献する取組みです。ピクテ・ジャパンが受取る収益（信託報酬）の一部を、対象ファンドの取扱い純資産総額に応じて配分し、46道府県<sup>※</sup>の地域再生計画に基づく事業に寄付します。

当プロジェクトの主な寄付のテーマ



自然環境



教育



栄養



福祉



防災・復興



注：ピクテ・ジャパン（以下、当社）の本社所在地である東京都を除く46道府県 ※原則として、当社が受取る収益（信託報酬）の一部を、各金融機関における対象ファンドの取扱い純資産総額に応じて、当該金融機関の本社所在地（道府県）に寄付します。また、本社所在地が東京都の金融機関における上記取扱い純資産総額に応じた分は、46道府県に均等配分し寄付します。2025年は約5,430万円の寄付を行います。※状況等により、上記の方針通りに寄付が行われない場合もあります。※2025年9月時点。将来見直しを行う可能性があります。

2025年度  
寄付先事業例  
福島県



## 只見線利活用事業

JR只見線は、福島県の会津若松駅と新潟県の小出駅を結ぶ全長135.2kmの路線で、平成23年7月の新潟・福島豪雨により、橋りょうの流出など、甚大な被害を受けた。特に会津川口駅～只見駅間は11年以上不通となっていたが、令和4年10月1日に全線運転再開を果たした。全線運転再開を契機に、単なる災害復旧にとどまらない「日本一の地方創生路線」を目指し、只見線利活用促進の取組を展開する。

### 寄付先事業例のイメージ



(1) 橋脚が流失した第7只見川橋りょう



(2) 復旧後の第7只見川橋りょう



(3) 只見駅に到着した全線運転再開の記念列車(2022年10月1日)



(4) 企画列車(風っこ号)の車内

※上記はあくまでも寄付先事業例のイメージであり、実際とは異なる場合があります。

対象ファンド等の詳細は、  
こちらをご覧ください。

皆様の温かいご支援のおかげで、対象ファンドのお取扱いが全国各地に広がり、ピクテ・ミライ・プロジェクトによる寄付を続けられていることを心より感謝申し上げます。今後も長きにわたって共に歩んできたネットワークを通じて、地域の皆様にファンド等を通じた、持続可能な社会に向けての取組みを継続してまいります。

